

休日レディースがん検診、始まる

働く女性を応援！

県は、女性の子宮頸がん、乳がん検診の機会を増やすため、土、日、祝日に出前検診を行う「休日レディースがん検診」を始めました。

本県は共働きが多く、また小規模事業所では、職場で女性のがん(子宮頸がん、乳がん)の検診を受ける機会が少ないため、働く女性の受診率が低いことが課題となっています。

5月10日(土)に開催した丹南会場では、丹南地区以外からの申し込みも含め、36人の方が受診。7月21日(月・祝)の坂井地区をはじめ、県内各地で開催します。自分のため、家族のために、ぜひがん検診を受診してください。



海浜自然センターをリニューアル

自然に親しみ、大切にすることを育てる



若狭町世久見にある県海浜自然センターが、4月26日(土)、リニューアルオープンしました。

新たに設置された幅4.5mの大型水槽には、マダイやトラフグなど若狭湾が育んだ「地元の味覚」の魚を展示。館内には、若狭湾や三方五湖に生息する約90種類、1500匹の生物が紹介されています。

磯の生き物観察やスノーケリングなどの自然体験講座を通じて、ふくいの海の美しさ、豊かさ、壮大さを実感し、自然を大切にすることを養います。

IAEA国際会議で講演

原子力人材育成の重要性をアピール



5月12日(月)、西川知事は、ウィーンで開催された国際原子力機関(IAEA)の原子力人材育成に関する国際会議に出席しました。同会議で日本の知事が講演したのは初めてです。

知事は、「原子力人材育成における福井県の戦略的国際協力」と題して英語でスピーチ。東京電力福島第一原発事故に触れ、「事故の教訓を後世に、世界に伝えることが、日本と福井県の重要な役割」と強調し、「世界の原子力人材の育成に積極的に取り組む覚悟」を表明しました。

また、会議に先立ち、IAEAの天野事務局長と会談し、来年、本県でIAEA主催の国際会議を開催することを決めました。

橘曙覧の未発表の歌を発見

文芸組織「わらや社中」を束ねる

幕末の福井の歌人、橘曙覧たちばなのあけみが生前に編集・刊行した歌集5点、これまで知られていなかった曙覧の和歌4首が見つかりました。これは、個人から県に寄贈の申し入れがあり、県で調査した結果、判明したものです。

歌集は、曙覧が40代の頃に編纂した木版の作品集。「わらや」という社中(結社)を主宰していたことや、武士や商人、女性など、様々な身分の人が参加し、府中(旧武生)、鯖江、勝山から歌が寄せられたことも分かりました。

これらの歌集は、来年2月に開館予定の文学館で紹介する予定です。

